

>>>> 九州・沖縄産業技術オープンデーで優秀賞受賞 <<<<

12月3日に、鳥栖市のサンメッセ鳥栖にて九州・沖縄産業技術オープンデーの合同成果発表会が開催され、各方面から416名の参加がありました。

当センターからは、企画支援部 南 晃研究専門員が、(株)南光の上田平孝也 代表取締役社長とともに「メガソーラー用の軽量で低コストなブラケットの開発」について口頭発表を行い、「優秀賞」を受賞しました。

また、次のようなテーマでパネル発表も同じ会場で行い、各担当の研究員による詳しい説明を多くの来場者に行うことができました。

- ①甦れ！奄美女性のあこがれ。奄美群島の伝統文様と用途展開
- ②さつまいも茎葉ポリフェノールを原料とした新規マテリアルの製造
- ③車いす座面の最適形状規則システム
- ④シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化

さらに、パネル発表においても、企画支援部の山田淳人研究専門員発表による「奄美群島の伝統文様」が、「ベストポスター賞優秀賞」を受賞しました。



南 晃研究専門員（左），上田平 孝也代表取締役社長（右）



パネル発表の様子

>>>> ふるさとづくり大賞の受賞 <<<<

平成27年1月31日、栃木県宇都宮市で総務省が主催する平成26年度ふるさとづくり大賞の試験研究機関表彰を受賞しました。地域づくりに貢献した特色のある試験研究機関として総務大臣から表彰されたものです。

特産品の焼酎について、関連企業で組織された研究会を事務局として支え、地道な支援活動を継続するとともに、「地域に根ざした焼酎蔵の個性的な焼酎造り」を実現するために、原料や酵母など選択の幅を広げる研究を実施し、鹿児島の特産の基盤を支えていることが評価されました。



表彰式の様子

>>>> かがしまデザインフェア2015に出展 <<<<

2月20日～22日にかごしま県民交流センターで、「かがしまデザインフェア2015」が開催され、6千人を超える来場者がありました。

当センターでは、大島紬の研究内容をパネルで紹介し、成果物として以下の製品を展示しました。

奄美古典織物復元・創作集、大島紬伝統小柄文様のデータベースを利用した名刺、ハガキ、ポチ袋、包装紙の展示と大島紬製造工程画像記録DVDを放映し、大島紬関連の業者や大島紬に関心のある一般の方々に、研究成果のPRを行いました。

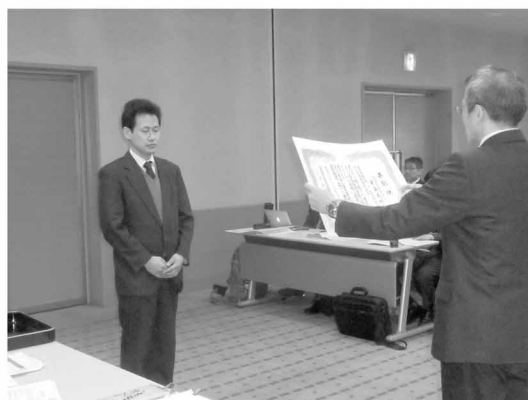


当センターブースの展示風景

>>>> 全国食品関係試験研究機関場所長会 優良研究・指導業績表彰 <<<<

2月26日に、つくば市のつくば国際会議場で、食品関係産業の発展に大きく寄与し優れた研究・技術成果及び指導実績に対して与えられる全国食品関係試験研究機関場所長会優良研究・指導業績表彰を、当センター食品・化学部の安藤義則主任研究員が受賞しました。

この表彰は、「奄美黒糖焼酎における品質特性の解明及び新規製造法の開発」に関する研究業績とその成果普及が評価されたものです。



表彰風景

>>>> 「穿孔用鍛造金型の設計方法及び穿孔用鍛造金型」が特許登録 <<<<

県が平成24年11月27日に特許出願していましたが「穿孔用鍛造金型の設計方法及び穿孔用鍛造金型」が、平成26年12月5日に特許登録（特許第5656232号）されました。

本発明は、鍛造品の一部に底付きの溝や穴などの凹み部を形成する穿孔用鍛造金型の設計方法及び鍛造金型に関するものです。

発明の本質は、鍛造金型の一部の剛性を敢えて低くし、当該部に弾性変形を集中させる指向的変形の集中です。すなわち、鍛造金型の一部を削るなどして敢えて剛性を低くした（変形し易くした）部位を形成し、そこに弾性変形を集中させ、鍛造金型と嵌合して組み付けるホルダーの加圧軸直角方向への拡がりを抑制させて鍛造金型の寿命を向上させようとするものです。

